

主催：がん拠点病院 聖隷浜松病院 がん診療支援センター

2018年度 第3回

がんに関する市民公開講座

学ぼう！AYA世代（思春期・若年成人） のがん患者が抱える課題と そのサポート



予約不要
参加費無料
【定員】300名

AYA世代って？

「AYA」とは、「思春期・若年成人：Adolescent and Young Adult」の略であり、わが国における定義は、「がんの治療成績改善が不十分であり、生瘤年齢であり、介護保険の対象でない15歳から39歳まで」とされています。この世代のがんは希少なため治療法が未確立であったり、AYA世代が抱える特有の課題への対応が十分でないといったことが問題になっています。

日時

2019年1月26日（土）
13時00分～14時50分
（12時30分開場）

場所

聖隷浜松病院
大会議室（医局管理棟地下1階）

プログラム

- | | | | |
|-----|--|-------|---|
| 講演1 | AYA世代（思春期・若年成人）
がん患者の現状と課題
乳癌科 小泉圭 | 講演5 | AYA世代のがん患者さんとご家族の心のケア
臨床心理士 高田美帆 |
| 講演2 | AYA世代とアピアランスケア
がん化学療法看護認定看護師 柴崎佳代 | ストレッチ | やさしい体操でからだをリフレッシュ！
聖隷予防検診センター 健康運動指導士 鈴木 希功子 |
| 講演3 | がん治療による不妊への対応策と支援の実態
～がん治療後の人生に向けての選択～
不妊症看護認定看護師 松岡七重 | ミニ講座 | AYA世代におくる食べるチカラ増進法
保健事業部 保健師 大塚蘭子 |
| 講演4 | 社会と繋がるサポート～相談支援の立場から～
医療福祉相談室 島田綾子 | 質疑応答 | 今回のテーマに沿って、事前にいただいた質問にお答えします。 |
- 【会場入口】 がん健診・健康診断・人間ドック予約ブースがあります。お名前も受け付けます！



その他、専門スタッフもいますので、疑問に思うことや心配事などございましたらご相談に応じます。

お近くのパンフレットスタンドに資料冊子を添付した、ポスターと同じデザインのリーフレットがありますので、そちらをご利用ください。資料冊子は聖隷浜松病院のホームページ（イベント情報）からPDFダウンロード出来ます。（左のQRコードからホームページへアクセスしてください。）

お問い合わせ先

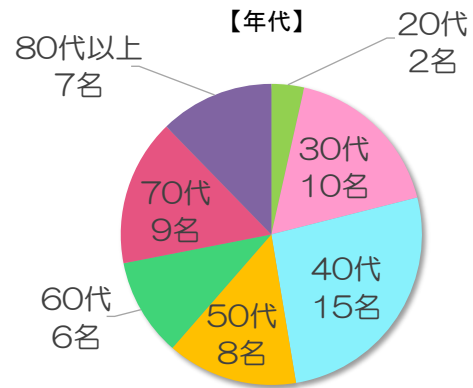
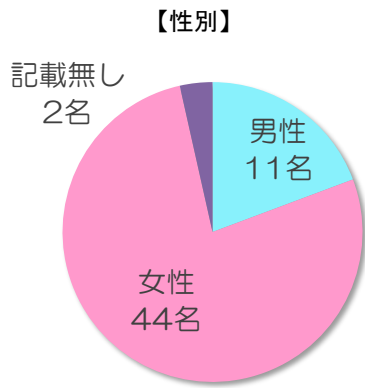
主催）聖隷浜松病院 がん診療支援センター
TEL 053-474-2614(平日 8:30～17:00) FAX 053-474-2615



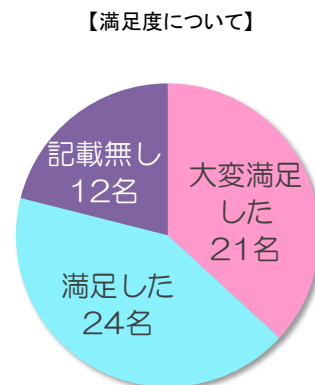
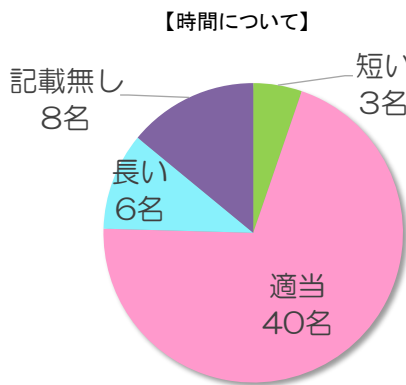
2019年1月26日（土）に聖隷浜松病院 大会議室において「2018年度 第3回 がんに関する市民公開講座 学ぼう！AYA世代（思春期・若年成人）のがん患者が抱える課題とそのサポート」が開催され、総勢84名の方にご来場いただきました。

その際、アンケートを実施させていただきましたが、

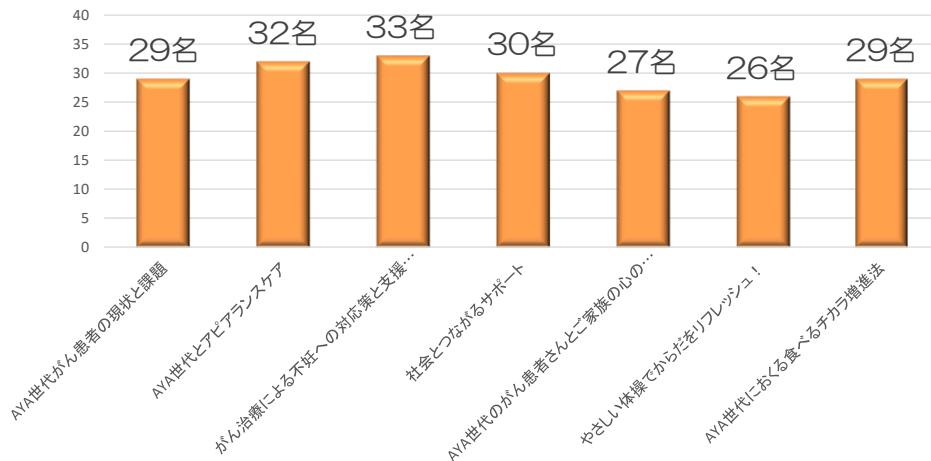
《アンケート集計結果》(アンケート回収数:57)



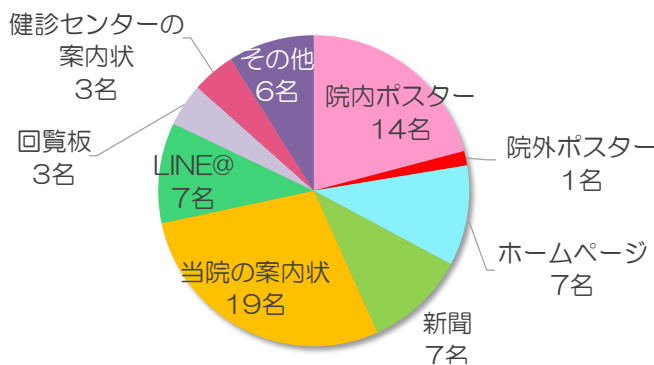
■ 本日の講演会全体を通じての感想をお教え下さい。



■ 満足度について、「大変満足した」「満足した」と答えた方にお聞きます。参考になった内容はどれですか。(※複数回答可)



■ 今回の講演会はどのようにお知りになりましたか。



【その他の内訳】
 ・知人、友人の紹介
 ・ジム（健診センターGENKI）の講師の方

■今後とりあげるテーマについてご要望がございましたらご記入ください。

- ・治療の種類や選択など
- ・心のケアに関して、精神科医や心理士の方から聞きたいです。自分ががん患者になる以上に、周りががん患者になる可能性の方がはるかに高いかと思えます。(友人、家族、同僚など)その時の接し方が心理士の方から学べる気がします。またがんに限らず病気となった時の、自分の考え方のヒントが得られると思えます。がんに関する講座を通し、多くの人のためになる講座になるかと思えますので、心のケアをもう少し掘り下げて聞きたいです。
- ・薬の副作用に対する対処、薬・薬以外のもの、例えば更年期の症状、しびれ、味覚障害など(個人差はあるでしょうが)
- ・がん治療の種類、タイプ分けなどを知りたいです。遺伝性について詳しく知りたいです。
- ・乳がんの再発のケア
- ・ゲノム
- ・予防法(生活スタイル)
- ・がんとりハビリ、がん運動について、がんライフスタイル
- ・退院後、治療後が辛かったので、孤独感からの脱出法なんかを知りたいです。脱毛に関して、ウィッグや帽子の情報ではなく、どうやって脱毛していくのかの覚悟の方が知りたかった。
- ・介護保険・その他社会資源について、訪問看護・ヘルパーなどの利用
- ・予防できるがんについて
- ・乳がんについて(原因・標準治療について、再建について、再発について、今後治療法がどの様に変っていくのか?など)
- ・主人ががんで亡くなりましたが、孫達に関係してくるか、食べ物で少しでも良い方向にいくのか知りたいです。
- ・免疫薬について説明して欲しい
- ・小児がん(白血病、脳腫瘍etc)について、問題点や周囲のサポートなど
- ・緩和治療、在宅治療について
- ・がん研究(治療)の最先端
- ・前立腺がんの治療・予防法、胃がんの治療・予防法
- ・胃、小腸、大腸
- ・がん講座ならどこのがんでも構わない

■ご意見、ご質問等ございましたらご記入ください。

- ・患者図書コーナーの存在等、初めて知る施設・サービスがあり、知ることができてよかった。もしもの時は、積極的に利用したいと思った。
- ・入り口が少し分かりにくく、入るのに勇気がいりました。
- ・当事者です。AYA世代に特化した内容の講座開催は、大変有意義でした。医療機関、医療者がAYA世代に目を向けていただけることは当事者にとって嬉しいです。
- ・大変良かったです。ありがとうございました。
- ・「授乳中、しこりが授乳で小さくならなかったり、次第に大きくなるときには相談してください」とのことでしたが、助産師さんからはそのような状況でも母乳マッサージをされて、「ほら、しこりが小さくなったでしょう」と言われ、初めての授乳ではそれを信じるしかできずに相談すべきとは気づけませんでした。助産師さんの「しこり＝乳腺炎」の思い込みをなくして欲しいです。上記の「授乳中に自分で気付いて相談すべき状況」を初産婦さんに伝えておいていただけると嬉しいです。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。また参加してみようと思います。
- ・どのお話もとてもわかりやすかったです。
- ・まさしくがんを経験し、なかなかAYA世代のお話の場がないので、今回は1日前に中日新聞で市民講座を知り参加しました。自分と同じ世代の患者さんが治療、家事(育児はなし)、仕事をどう両立されているか知りたいです。STAND UPが入手できて良かったです。
- ・とてもわかりやすい内容だった。多くの職種ががん治療や支援にかかわっていることがよくわかった。
- ・ストレッチ:音楽と一緒にやれて楽しかった。
- ・具体的な話が聞けて良かったです。
- ・全体的に丁寧な説明で良かったです。
- ・がん以外のテーマについても今後取り入れて頂けたら。
- ・相談窓口が明確になりよかったです。
- ・がん患者との家族の対応の仕方、言い方などもう少し話してほしかった。家族はおろおろ、手は出せず、なんと言って良いか…?
- ・今後がんになるかも…もし発症していても、いろいろな相談窓口があってある意味安心材料と思えた。AYA世代ではないが、がんはやはり怖い。

ご協力ありがとうございました。
聖隷浜松病院 がん診療支援センター